

科目	地域産業論	担当	山田 正人	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

地域で産業を興すというのはどんなメリット・デメリットがあるのか、ここ東海市で生まれた産業・企業や、最近東海地方で興った事例をみる。実際に各企業を回ってみてくることができ、本当のところどうなのか、どんなところに注力しているのか。地域のブランド論とクラスター論についてみる。企業研究をとおして考察を行う。

様々な企業の見方を地域の産業から学ぶ術を身に着けることを目標としている。

【履修注意】

3年生を想定して講義をするが、4年生も受講できる。

授業中にはノートをとりなさい。(テストの折、自筆のみのノートについては持ち込みを認めている)

【評価方法】

テストは、100点満点のうち、10点は受講した感想である。

授業時の平常点は、最大10点相当を充てて加点している。

講師の持ち点も、最大10点相当加点することがある。

テストは、少なくとも2回ある。期末テストの点数をもとに、中間試験の点数を考慮して決める。

【試験について】

持ち込み物件：自筆のみのノート

再テスト対象者：4年生で、40点以上のものについては対象者として考えている。

【予習・復習】

授業中にノートをとりなさい。(自筆のノートを作ることが復習にもなる)

【教科書】

スライド(PPT)をWBTで配布する。

【参考書】

配布印刷物が時折ある。

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	地域力の時代	1. 講義ガイダンス、社会お基本構造、構造の本質
2-5	1次産業から6次産業へ地域にこだわる製品づくり	2. 伊賀モクモクファーム 3. JAあぐりタウン元気の郷 4. 恵那川上屋
5	地域ブランド論	5. ブランドイクイティー
6	プレゼンテーション大会	P大会=ブランド論=レポート
7	東海市の産業	7. 漁業・農業からサービス業・商業、重工業まで
8	中間のまとめ	
9-10	地域の産業を支えるもの(交通・金融サービス)	9. 新日鉄住金・愛知製鋼 10. 知多信用金庫
11	産業クラスター論	11. 岐阜大垣ソフトピアJAPAN-各務原テクノプラザ(地域産業の育成)と情報科学芸術大学院大学[IAMAS]の存在
12-14	地場の産業としての農林水産業にルーツを持つ工業	12. 醸造業と新製品 ミツカン 13. トマトから世界へ KAGOME 14. 名古屋は高級品 坂角
15	ディベート大会	15. D大会=高級/大衆=クラスター=レポート
16	期末テスト	